

ずっと住み続けたい

“こちいい (心地好い)”

いまぼい

いまぼい

第2次 今治市総合計画 2016-2025

概要版

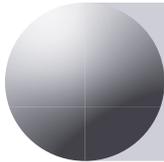
あの橋を渡って 世界へ 未来へ

計画の役割と構成

1 総合計画の役割

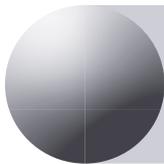
総合計画は、本市の最上位計画であり、まちづくりの羅針盤となるものです。現状や課題を踏まえて、今後10年間の進むべき方向を明確に示すことで、目指すべき将来像の実現に向けた取組を推進します。

その主な役割は、次のとおりです。



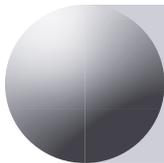
市民と歩むまちづくりの指針

市民に対し、目標とするまちの姿を示すとともに、市民や事業者などと共にまちづくりを進めていく際の指針となるものです。



行政運営の指針

目標とするまちの姿を実現するための総合的な行政運営の指針となるものです。

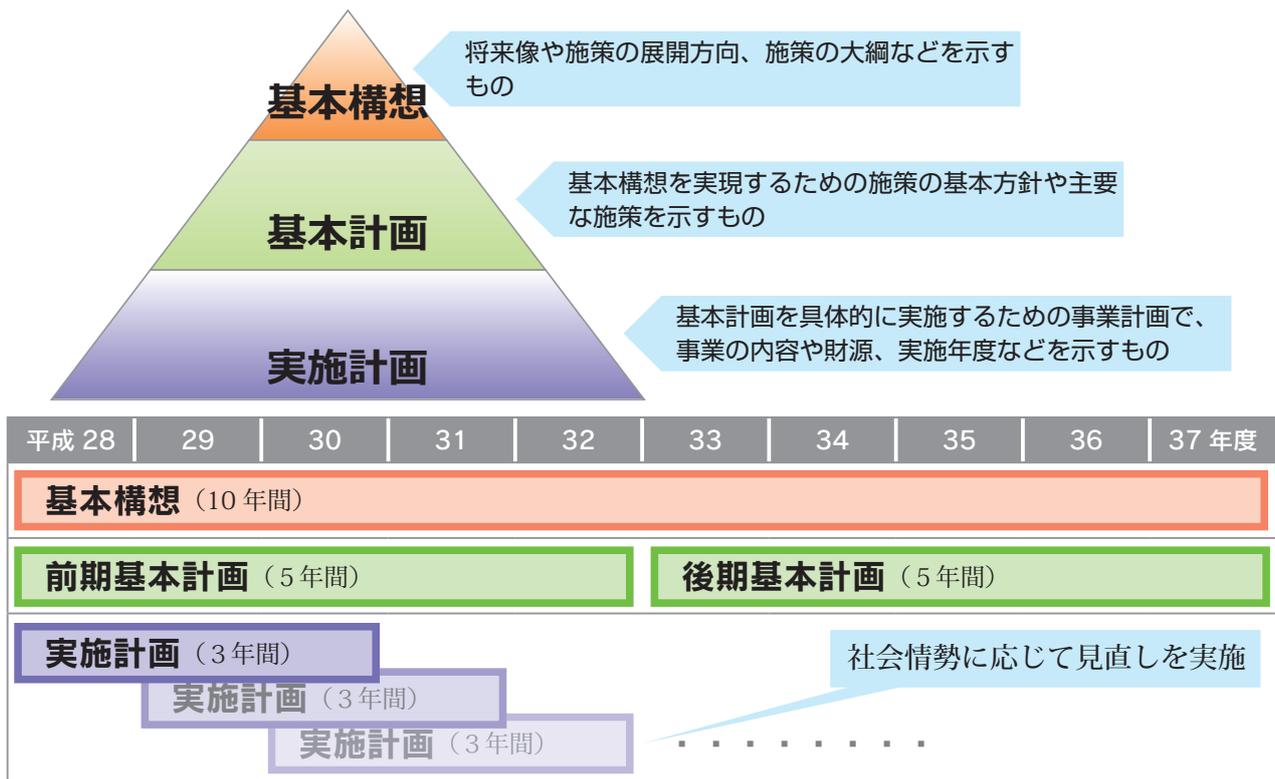


国や県、関係機関に示す市政の指針

国や県、関係機関に対し、本市のまちづくりの指針について意思表示するとともに、まちづくりに関する相互調整の基準となるものです。

2 総合計画の構成と期間

総合計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されます。



今治市の目指す姿

【将来像】

将来像とは、本市のこれからのまちづくりの方向性や目指す姿を明らかにするものであり、市民とともにそこで、今ある地域資源に磨きをかけ、まちの魅力を高めることで、住んでいる人が幸せを感じるとすべき将来像を次のとおり掲げます。

ずっと住み続けたい“ここちいい あの橋を渡って

「ずっと住み続けたい」

と思えるふるさとを目指す

このまちの魅力に気付き、今あるものを大切に守り育てるとともに、新しい魅力を創っていくことで、50年後、100年後にも、私たちや私たちの子や孫の世代がふるさとを愛し、だれもがずっと永く、いつまでも住み続けたい、ここで暮らしたいと思えるまちをみんなの力で目指します。

「“ここちいい(心地

市民一人一人の豊かな心豊かな暮らしを守るとともに、ま感じられることで、このまち“ここちいい(心地好い)”まちをみ

【将来推計人口】

将来像の実現に向けて、若者や子育て世代にも、ずっと住み続けたいと思えるまちづくりを進め、各種施策の展開により人口減少を抑制することで、本市の将来推計人口を次のとおり国立社会保障・人口問題研究所の推計値とし、平成37年における将来推計人口を141,000人とします。

将来推計人口 (単位：人)

	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年
総人口	166,532	158,300	150,000	141,000
年少人口(0～14歳)	20,842	18,500	16,400	14,300
生産年齢人口(15～64歳)	97,664	86,900	79,800	74,800
老年人口(65歳以上)	47,792	52,900	53,800	51,900

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」
(100人未満四捨五入、平成22年は国勢調査の実績)

にまちづくりを進めていくための共通目標となるものです。
もに、だれもがずっと住み続けたい、暮らしたいと思えるまちをみんなの力で実現するため、本市が目指

(心地好い)”まち いまばり 世界へ 未来へ

「(心地好い)”まち」 を創り上げる

育み、この地の安全・安心で快適
ちの魅力を高め、だれもが幸せを
が好きという思いで包まれる“こ
んなの手で創り上げます。

「あの橋を渡って 世界へ 未来へ」 ふるさとの魅力をつなげる

暮らしやすい気候風土、恵まれた自然環境、活力ある地域産業
や多彩な観光資源など、世界に誇れるこのまちならではの魅力が
たくさんあります。

島と島とが橋でつながるように、今治のシンボルの1つである
橋を「架け橋」や「つながり」のイメージに重ね合わせて、世界
に誇れるこのまちの魅力を世界に向けて発信し、だれもが知り、
訪れることで今治と世界をつなげるとともに、その魅力を更に磨
き上げて、現在から未来へとつなげていきます。

【想定する都市フレーム】

本市の都市フレームを想定するに当たり、国内外へ向けてまちの魅力を発信し、今治と世
界をつなげることで、本市に観光などで訪れる人を増やしていくとともに、市外からの通勤・
通学者数を維持していくことを想定し、平成37年の1日当たりの観光入込客数を8,600人、
市外からの通勤・通学者数を7,000人と見込みます。

そして、将来推計人口
と観光入込客数や市外か
らの通勤・通学者数を合
わせた156,600人を、平
成37年の都市フレーム
とします。



施策の展開方向

将来像「ずっと住みたい“ここちいい(心地好い)”まち いまばり あの橋を渡って 世界へ 未来へ」の実現を目指すための施策の展開方向として、『「心」を育む』『この「地」を思う』『まちを「好」きになる』の3つを示します。



1 心 を育む

子どもからお年寄り(大人)まで心身の健康が守られるとともに、互いに理解し、支えあいながらいきいきと暮らせる環境を整えます。

また、自分や家族はもちろん、このまちの今と未来のことを大切に思い、子どもたちが生きる力を身に付けるため、みんなの豊かな心を育むため、まちぐるみで取り組むまちづくりを推進します。

そして、この豊かな心と思いやりあふれる人とふるさとを愛する心を育み、だれもがずっと住みたい、暮らしたいと思える“ここちいい(心地好い)”まちを目指します。

2 この地 を思う

先人から受け継がれてきた豊かな自然を守り、より良い環境で次の世代につなげられるように、環境に配慮し自然と共生するまちづくりを推進します。

また、毎日の暮らしを支える生活基盤の整備によって、人やもの、命をつなぎ、地域内外との交流の和がもっと広がるように、さらに、いざという時にもまちぐるみで助けあえる体制を整えることで、防災・減災によって命や財産を守ることができるように、安全・安心・快適に暮らし続けられるまちづくりを推進します。

そして、これらの安らぎと幸せを実感できるまちづくりによってこの地への思いが広がり、だれもがずっと住みたい、暮らしたいと思える“ここちいい(心地好い)”まちを目指します。

3 まちを好 きになる

中心市街地や今治新都市の魅力を高めるとともに、瀬戸内しまなみ海道を始めとする美しい景観や多様な観光資源を磨き上げ、いつまでも心にあり続ける魅力あるまちづくりを進めます。

また、世界で活躍する基幹産業や地域に根ざして発展を続けてきた農林水産業と地場産業など、このまちならではの多様な産業の振興を図り、併せて起業支援や就労機会の拡大、働きやすい環境整備に取り組むことで、だれもがここで働きたいと思えるまちづくりを推進します。

そして、これらの魅力的で活力あるまちのにぎわいづくりによってこのまちを誇りに思い、好きになり、だれもがずっと住みたい、暮らしたいと思える“ここちいい(心地好い)”まちを目指します。

ふるさと共創〔走〕システム

重点施策

- 将来像実現の原動力として、人口減少の抑制に向けた「ふるさと共創〔走〕システム」を重点施策として位置付け、積極的かつ効果的に展開します。
- 「ふるさと共創〔走〕システム」は、「共働」「共育」「共感」の3つの視点で施策を集約した「地域共働システム」「子ども共育システム」「魅力共感システム」で構成されています。
- 3つのシステムが好循環を生み出し、このふるさとでの暮らしへと誘（いざな）う仕組みが「ふるさと共創〔走〕システム」です。



「ふるさと共創〔走〕システム」の推進には、大海に向けて大きくこぎだす船のような力強さと、大地を踏みしめ前へこぎだし颯爽と走る自転車のようなスピード感を併せ持つことが必要です。その上で、これまで以上にまち全体が手を携えて取り組み、ずっと住み続けたい、暮らしたいと思える“ここちいい（心地好い）”ふるさとを創り上げるため、ふるさと共創〔走〕の取組を進めていきます。

共に働く

元気にこぎだせ！ 地域共働システム

地域の強みである産業集積（造船、タオルなど）や豊かな自然環境などを活かし、今治で生まれ育った市民を始め、U・I・Jターン希望者や、高齢者、障害者、女性など、だれもが元気でいきがいを持って働くことができるよう「共働」のまちづくりを推進します。

共に育てる

未来へこぎだせ！ 子ども共育システム

今治で子どもを産み、育て、育った子どもたちが今治に誇りを持ち、このまちで次世代を育もうと思えるよう、市民・事業者・行政が一丸となって出会いから子育てまできめ細かで切れ目のない「共育」のまちづくりを推進します。

共に感じる

世界へこぎだせ！ 魅力共感システム

市民が誇りに思うふるさとの魅力を広く世界にまで発信することで、サイクリストを始め、国内外から多くの人々が今治を訪れ、市民と交流し、今治の魅力を感じることで、だれもがまた訪れたい、暮らしてみたいと思えるような「共感」のまちづくりを推進します。

施策の大綱・新たな行政改革への取組

【施策の大綱】

3つの施策の展開方向『心』を育む』『この「地」を思う』『まちを「好」きになる』を柱として、各分野で展開する施策の大綱を示します。

1 心 を育む

施策の大綱1 健やかに安心して暮らせるまちづくり

まちづくりの主役である市民が、子どもからお年寄りまで住み慣れた地域で互いに支えあい、生涯を通じて健やかに安心して暮らせるように、以下の基盤づくりを推進します。

(1) 安心して子どもを産み、育てていける基盤づくり

(2) いつまでも健やかに暮らしていける基盤づくり

(3) 支えあい、いきいきと暮らしていける基盤づくり

施策の大綱2 豊かな心と生きる力を育むまちづくり

市民一人一人の豊かな心を育み、子どもたちの生きる力をみんなで育むため、以下の基盤づくりを推進します。

(1) 子どもたちの生きる力を育む基盤づくり

(2) 豊かな心と地域の元気を育む基盤づくり

施策の大綱3 みんながつながり支えあうまちづくり

ふるさとをより良くするため、市民一人一人が、あるいは、市民と行政がつながりを持ち、互いに支えあうため、以下の基盤づくりを推進します。

(1) 世代を超えて、みんながつながる地域の基盤づくり

(2) 身近で、わかりやすい市政の基盤づくり

2 この 地 を思う

施策の大綱4 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

だれもがこのまちで安全・安心・快適に住み続けられるように、以下の基盤づくりを推進します。

(1) 地域の和を広げ、安全・安心・快適に暮らしていける基盤づくり

(2) みんなで災害に備える、安全・安心の基盤づくり

施策の大綱5 美しい地球を未来へつなぐまちづくり

本市の美しい自然環境を守り育てるとともに環境保全に努め、いつまでも良い環境で暮らし続けることができるように、以下の基盤づくりを推進します。

(1) 豊かな自然を守り、育て、次代に返すための基盤づくり

(2) 環境に配慮した暮らしの基盤づくり

3

まちを **好** きになる

施策の大綱 6 誇りに思える魅力があふれるまちづくり

たくさんの方が今治を訪れ、住む人が誇りに思えるように、魅力あふれる交流とにぎわいを創造するため、以下の基盤づくりを推進します。

(1) 交流とにぎわいを創造する、魅力あふれる都市(まち)の基盤づくり

(2) 魅力ある観光資源をいかした、交流とにぎわいの基盤づくり

施策の大綱 7 産業の飛躍と創造に満ちた活力あるまちづくり

今治の強みを活かし、まちの活力を生み出す産業の振興や雇用創出に向けて、以下の基盤づくりを推進します。

(1) 世界で活躍する産業のさらなる飛躍の基盤づくり

(2) いきいきと働ける活力ある産業の基盤づくり

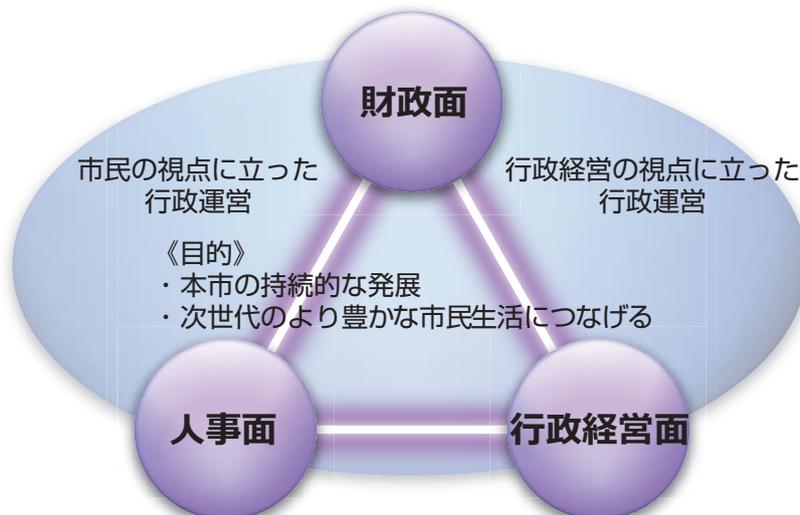
【新たな行政改革への取組】

将来像の実現に向けて、“豊かな地域社会を次世代につなげるために”を基本理念に掲げ、行政改革の取組を推進します。

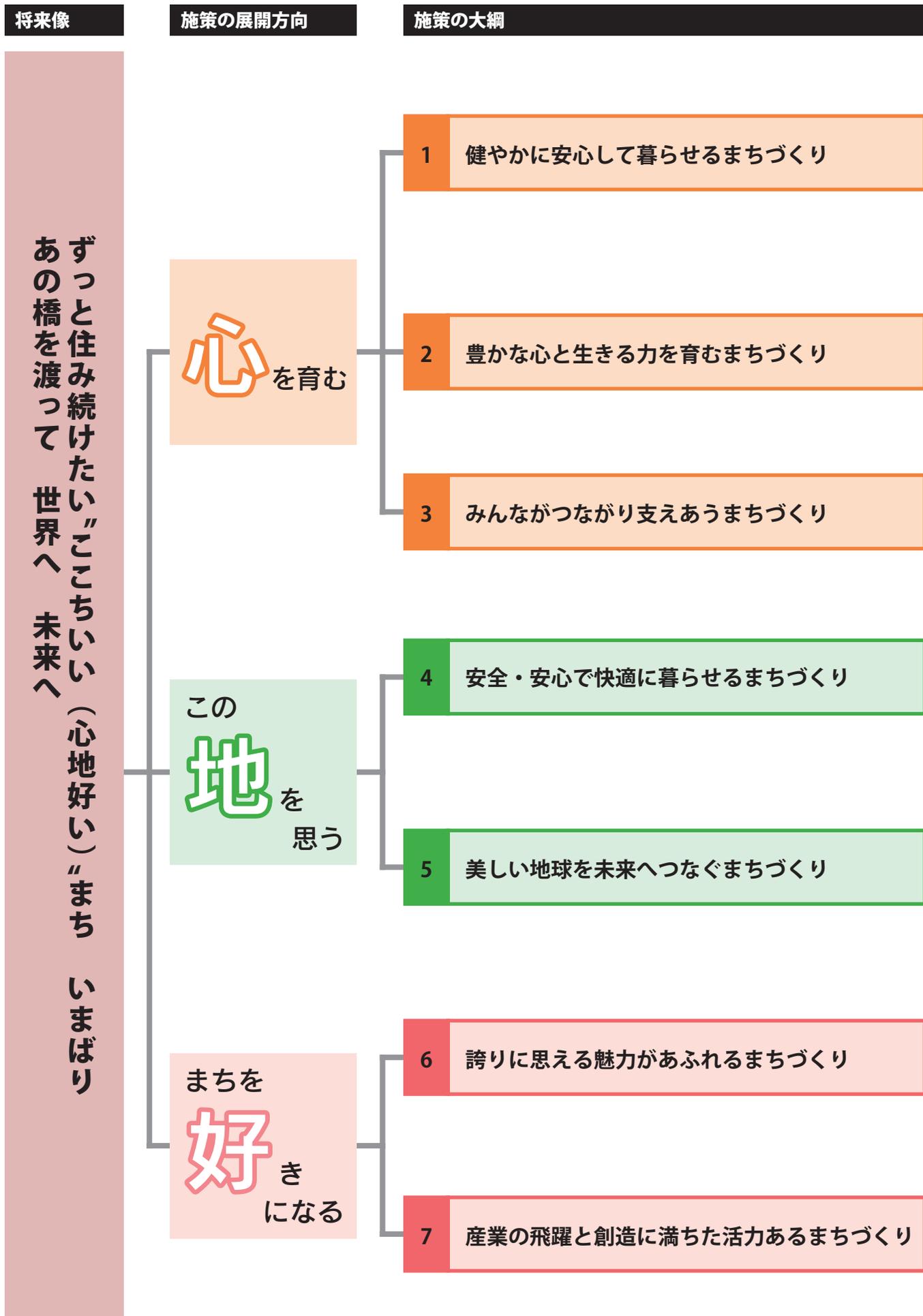
「市民の視点」と「行政経営の視点」の2つの視点に基づくことを基本姿勢とし、人事面、財政面、行政経営面の3つの観点により、効率的で効果的な行政運営を目指し、不断の決意をもって改革に取り組めます。

基本理念

～豊かな地域社会を次世代につなげるために～



総合計画施策体系図



施策の方向

① 安心して子どもを産み、育てていける基盤づくり

② いつまでも健やかに暮らしていける基盤づくり

③ 支えあい、いきいきと暮らしていける基盤づくり

④ 子どもたちの生きる力を育む基盤づくり

⑤ 豊かな心と地域の元気を育む基盤づくり

⑥ 世代を超えて、みんながつながる地域の基盤づくり

⑦ 身近で、わかりやすい市政の基盤づくり

⑧ 地域の和を広げ、安全・安心・快適に暮らしていける基盤づくり

⑨ みんなで災害に備える、安全・安心の基盤づくり

⑩ 豊かな自然を守り、育て、次代に返すための基盤づくり

⑪ 環境に配慮した暮らしの基盤づくり

⑫ 交流とにぎわいを創造する、魅力あふれる都市（まち）の基盤づくり

⑬ 魅力ある観光資源をいかした、交流とにぎわいの基盤づくり

⑭ 世界で活躍する産業のさらなる飛躍の基盤づくり

⑮ いきいきと働ける活力ある産業の基盤づくり

主要な施策

- ライフステージに応じた切れ目のない子育て支援の充実
- 子育て家庭への経済的支援
- 母子の健康づくりへの支援
- 教育・保育環境の充実

- 健康づくりの促進
- 医療サービスの充実
- 医療体制の維持・確保
- 各種保険制度・社会保障制度の適正な運用

- 介護予防・健康づくりの総合的な促進
- 高齢者の社会参加・生きがいづくりの推進
- 高齢者を地域で支える体制整備
- 高齢者の住まいの確保
- 障害のある人の地域生活の支援と生活環境の整備
- 障害のある人への保健・医療の充実
- 障害のある人の教育・交流の充実
- 障害のある人の雇用、就労、経済的自立の促進
- 障害のある人への差別的解消・権利擁護の推進

- 特色ある教育環境の整備
- 学校教育施設・設備の整備
- 安全・安心な給食と食育の推進

- 文化芸術の振興
- スポーツの振興
- 文化財の保存・活用
- 文化やスポーツを通じた国内外交流の促進

- 地域の和を広げる多様な学習機会の充実
- 人権意識の高揚と人権問題解決への取組の推進
- 男女共同参画の推進
- 移住・定住の促進
- お祭りや伝統文化の保存・継承
- 地域の担い手確保と地域活性化の取組への支援の充実
- 地域における市民の生活と活動への支援の充実

- 市民にわかりやすい市政情報の共有化の推進
- 市民にやさしい行政機能の充実
- 将来につなげる効率的・効果的な行政運営

- 幹線道路、生活道路、交通安全施設の整備
- 適正な土地利用の推進
- 交通体系の維持・確保
- 港湾・海岸保全施設の整備
- 安心・快適な住環境づくり
- 公園の整備
- 防犯の推進と市民相談の充実
- 情報通信環境の整備
- 墓地・火葬場の整備
- 上水道の整備

- 防災体制の充実
- 自主防災力の向上
- 防災拠点の整備
- 河川整備、砂防、海岸保全の推進
- 消防体制の充実

- 環境教育活動の推進
- 緑化意識の高揚
- 地球温暖化防止の推進
- 環境保全の推進
- 森林整備の推進

- 循環型社会の実現に向けた取組の推進
- 廃棄物の適正処理や減量化の推進
- 環境負荷軽減の取組の推進
- 廃棄物処理施設の整備
- 下水道・合併処理浄化槽の整備

- 今治港周辺の整備・活用の推進
- まちなかの魅力を高める取組の推進
- 中心市街地の機能強化と市街地空間の有効利用
- 新都市への高等教育機関の誘致
- 今治新都市の形成促進

- サイクルシティ構想の推進
- 景観の形成・保全と観光交流資源の形成
- 誘客イベントの実施と魅力ある旅行商品の企画、販売
- スポーツを核としたまちづくりの推進
- 広域観光周遊ルートの形成と外国人観光客の受入れ環境の整備
- 観光情報発信力の強化

- 海事産業の次世代の人材育成
- 海事クラスターの充実
- 海事文化の振興と交流の促進
- 繊維産業の人材確保と技能伝承
- タオルブランドの保護・育成
- タオル産業の海外展開の支援

- 農林水産業の担い手育成と従事者確保の取組の支援
- 農林水産物の生産環境の整備
- 食の安全・安心と農林水産業活性化の促進
- 地場産業の振興
- 産業振興の取組への支援
- 企業誘致
- 今治での就職促進と働きやすい環境整備の促進

ずっと住み続けたい"ごこちいい"まち
あの橋を渡って 世界へ 未来へ
(心地好い)"まち
いまばり

共に働く

元気にこぎだせ！ 地域共働システム

主要な施策

- 1 海事とタオルのまちづくり
- 2 地域の企業・産業が成長するまちづくり



共に育む

未来へこぎだせ！ 子ども共育システム

- 3 少子化対策の強化
- 4 女性がいきいきと輝くまちづくり



共に感じる

世界へこぎだせ！ 魅力共感システム

- 5 サイクルシティ構想の推進
- 6 スポーツのまちづくり
- 7 広域観光周遊ルートの形成
- 8 移住・定住の促進
- 9 獣医大学の誘致



新たな行政改革への取組

基本理念

～豊かな地域社会を次世代につなげるために～

基本姿勢		改革の柱	重点目標
I	市民の視点に立った行政運営	組織・職員の改革(人事面)	1 組織体制及び定員の適正化
			2 給与の適正化
II	行政経営の視点に立った行政運営	財政運営の改革(財政面)	3 職員の人財開発
			4 持続可能な財政基盤の確立
		行政経営の改革(行政経営面)	5 事務事業の効率化と質の向上
			6 民間活力の活用